

御殿山駅周辺の交通安全対策に関する決議

御殿山駅周辺の交通環境については、これまで本市議会における一般質問等で複数の議員から指摘があるとおり、御殿山踏切の安全対策が大きな課題となっています。特に朝夕の通学・通勤時間帯においては、周辺環境の変化により歩行者が増えており、御殿山踏切と府道との交差点付近で渋滞が発生している中、踏切の幅員が十分でないため、歩行者の真横を自動車が通り抜けるといった危険な状況が続いています。

こうした現状を踏まえ、昨年１２月には本市が主体となって踏切周辺の安全対策等に関する勉強会を開催し、また、本年１月には大阪府が主体となって踏切対策検討会が開催され、関係機関で現状、課題等の共有が図られたと聞いています。

また、御殿山駅から市道渚中宮線までの区間（市道渚第１号線）は、都市計画道路御殿山小倉線の一部として拡幅整備が計画されていますが、現状は幅員が狭く、急勾配でありながら、こちらも通学・通勤時間帯において歩行者や自転車の交通量が多く、その横を自動車が通り抜けていくといった危険な状況が見られます。

こうした中、御殿山地域においては、現在、関西外国語大学により、新しいキャンパスの建設工事が進められ、およそ３，０００人規模の学部の移転などが予定されています。そのため、平成３０年４月の新キャンパス開学後は、御殿山踏切、市道渚第１号線とも、さらに交通量が増えることが予想されます。

よって、市長は、御殿山駅周辺の交通安全対策として、下記の措置を講じるよう強く求めます。

記

- １．関係機関との協議に基づいて、可能な限り早期に御殿山踏切における安全対策の具体化を図ること。
- ２．沿道住民の生活に配慮しながら、都市計画道路御殿山小倉線の整備を着実に進め、御殿山駅から市道渚中宮線までの現道を拡幅し、歩行者や自転車の安全な通行空間を確保すること。また、拡幅が実現するまでの間においても、関係機関との協議に基づいて、実効的な交通安全対策を実施すること。

以上、決議します。

平成２９年９月２２日

枚 方 市 議 会

〈送 付 先〉

枚 方 市 長